



女子の部は資生堂が制す 十八駅伝

8月7日、第71回十和田八幡平駅伝競走全国大会が開催されました。今年から始まった女子の部では、資生堂チームが接戦を制し、初代の栄冠を手に入れました。

男子の部では、小森コーポレーションが9年ぶりの優勝を果たしました。

早朝は肌寒いほどの気候でしたが、選手にとっては走りやすいコンディションで、ハイペースなレース展開は観客を盛り上げました。



花輪ばやし



毛馬内盆踊り

鹿角の夏を彩る 伝統の祭り

今年も、鹿角を彩る伝統の夏祭りが市内各地で開催されました。

例年8月15日に開催される大湯大太鼓まつりは、あいにくの大雨で中止となりましたが、日中行われる大圓寺前での供養太鼓では、勇壮な太鼓の音が大湯の温泉街に鳴り響きました。

8月19日、20日の2日間にわたり開催された花輪ばやしでは、豪華絢爛な屋台が花輪のまちを練り歩き、軽快なお囃子が訪れた観客の心を躍らせました。



大湯大太鼓



花輪ばやし

また、20日の駅前行事では、昨年本市でロケが行われた映画『ディアンダナイト』で主演を務めた阿部進之介さんが挨拶し会場を盛り上げました。

8月21日から23日には、毛馬内盆踊りが開催されました。情緒豊かで、かがり火を囲む優雅な輪踊りが、夏の夜を彩りました。

未来を担うアスリートの熱戦 浅利純子杯

7月28日、花輪商店街を舞台に、浅利純子杯争奪第12回鹿角駅伝が開催され、未来を担う小中学生が熱戦を繰り広げました。

今年は北東北3県から53チームが集まり、中学女子の部では花輪第一中学校が3年ぶりの優勝を飾りました。



希望を胸に 鹿角市成人式

8月16日、文化の杜交流館コモッセで鹿角市成人式が開催され、対象者300人のうち258人が参加し、人生の門出を仲間と喜び合いました。

新成人の代表、金澤勇介さんは「自分が大切にしているものをしっかりと主張できる、胸を張れる人間になりたい」と抱負を述べました。

新成人たちは晴れ姿を写真に撮りあうなど、友人との再会を楽しんでいました。



全国トップ実業団からバスケットを学ぶ

今年、本市の姉妹都市であるハンガリー国シヨプロン市を訪れ、現地の中学生とバスケットボールの試合をする本市の中学生「スポーツ交流団」の強化練習として、8月4日、実業団女子の強豪、秋田銀行女子バスケットボール部による指導教室がスポーツセンターで行われました。

トップレベルの技術を学ぶまたよい機会となったことから、「スポーツ交流団」以外の中学生選手も参加し、約50人がひたむきに汗を流しました。



百歳長寿を祝う 児玉精一さん

児玉精一さん（大正7年花輪生まれ）が8月17日に満100歳の誕生日を迎え、児玉市長が顕彰状と祝い金を贈り、長寿を祝いました。

精一さんは8人兄弟の長男で、「何でも出来て、何でも知っている賢い兄」と慕われていました。戦時中の衛生兵としての経験から、帰郷後、近所の人から怪我の手当てを頼まれていました。農業を営み、バイクの運転が好きだった精一さんの趣味は歌うこと。今もデイサービスで美声を披露しているそうです。

